

I 令和5年度事業の実施状況

1. 概要

1997年(平成9年)に臓器移植法が施行され、脳死下での臓器移植が行えるようになった。その後、2010年(平成22年)には改正臓器移植法が施行され、本人の意思が不明な場合であっても、家族の承諾により脳死下での臓器提供が可能となり、提供件数が増加傾向となっていたが、2020年の新型コロナウイルス感染症のパンデミックと、その長期化の影響もあって、眼球を除く臓器の提供件数は激減状態が続いた。

しかし、2022年に入るとウイズコロナも定着し、社会や経済活動が再び動き出したことで、臓器提供件数もコロナ禍前に匹敵する状況までに回復してきた。

本県において2022年(令和4年)は、心停止後臓器提供が6年振りに1件発生したほか、県外からの提供が1件、加えて角膜提供が3件あったものの、依然提供件数の少ない状況が続いている。

このため、移植医療の推進を担う県内唯一の公益法人として、社会情勢に留意するとともに、新型コロナウイルス感染症から得た教訓も活用し、関係機関・団体と連携のもと、コロナ禍以前にも増して臓器及び角膜移植等に関する普及啓発と移植医療を取り巻く環境整備、支援等に努めるべく各種事業を実施した。

令和5年度事業の実施状況は、次のとおりである。

2. 普及啓発事業

(1) グリーンリボンキャンペーン in AKITA の開催

臓器移植に対する理解を深めるため「臓器移植普及推進月間」に合わせて、県民を対象とした健康や移植医療等に関する市民公開講座を行った。

開催日：10月9日(祝日・スポーツの日)

会場：「アルヴェ」多目的ホールA

内容：「健康長寿法&移植医療の現状」、講師：鈴木裕之(すずきクリニック院長)

参加者：125人

(2) グリーンリボンライトアップ事業の実施

移植医療への意識啓発を図るため「臓器移植普及推進月間」に合わせて、移植医療のシンボルカラーであるグリーンで建物等をライトアップし、普段とは違った景観を通じて、県民に移植医療を周知した。

実施場所：①ABS 本社&電波塔 10月13～16日、17:00～22:00

②ポートタワー・セリオン 10月 1～16日、16:30～22:00

(3) 街頭キャンペーンの実施

臓器移植に対する理解と普及啓発を図るため「臓器移植普及推進月間」と「眼の愛護デー」に合わせて、県腎臓病患者連絡協議会やライオンズクラブ等との共催で、一般通

行人を対象に、意思表示についての啓発資材（ポケットティッシュ）の配布を行った。

日 時：10月1日（日）9:30～11:00

場 所：秋田駅東西連絡自由通路（ぽぽろード）

配布数：1,500個

(4) 新聞への広告掲載

「臓器移植普及推進月間」に開催する市民公開講座やライトアップ等の行事の告知に加え、健康保険証等での意思表示についての周知を図るため、秋田魁新聞の「さきがけ情報プラザ」に広告を掲載した。

掲載日：10月3日（火）

(5) デジタルサイネージによる普及啓発

「臓器移植普及推進月間」に開催するイベント等を告知するため、公共施設等に設置されているデジタルサイネージを活用したPRを行った。

実施箇所：県鹿角振興局 玄関、10月1～14日まで

(6) 種苗交換会・普及推進キャンペーンの実施

移植医療の周知や県民の意識等を調査するため、県内有数の大規模イベントである種苗交換会において、ブースを設けて移植医療についての資料を展示・配布するとともに、来訪者に対しアンケートを実施した。

開催日：11月2～6日

会 場：潟上市天王総合体育館前 特設ブース

結 果：回答数579、有効数522、有効回答率90%

(7) 臓器不全の予防に関する普及啓発事業の実施

腎臓病に対する知識の普及と臓器移植に対する理解を深めるため、県腎臓病患者連絡協議会と共催で「腎臓病を考える集い」を開催した。

日 時：12月17日（日）14:00～15:30

会 場：青少年交流センター「ユースパル」

内 容：講演「慢性腎臓病の予防と対策」、講師：仙北市西明寺診療所長 市川晋一

参加者：32名

(8) 「いのちを考える学習会」の開催

児童・生徒等に移植医療を知ってもらうため、学校等からの依頼に応じて「いのちを考える学習会」を開催し、講話を通して命の大切さを伝えた。

①小坂高校（全学年）：6月7日、53名参加

②飯島小学校（6年生）：8月29日、64名参加

③西目高校（1年生）：8月30日、117名参加

④秋田北高校（医療系進学希望者）：9月13日、35名参加

- ⑤平成高校（医療系進学希望者）： 9月19日、 12名参加
⑥山王中学校（全学年）： 10月26日、 537名参加
⑦湯沢翔北高校（全学年）： 12月 7日、 34名参加

(9) イオングループの支援対象団体への登録

イオングループが、社会貢献活動として実施している「幸せの黄色いレシートキャンペーン」*の応援登録団体への登録を行い、投函されたレシート金額の1%（¥32,600円）を当協会が受け取った。

(10) グリーンリボンサポーター事業の実施

移植医療の普及啓発を、企業や団体単位で進めるため、企業等に働きかけ当該趣旨に賛同いただいた企業等を「グリーンリボンサポーター」と認定し、各種啓発資材等を提供するとともに、それらを活用した自主的な活動を支援した。

新規加入：13団体（累計72団体）

3. 相談・助言に関する事業

県民を対象に、角膜移植を含め移植医療全般についての疑問・質問・相談等に対し、電話やメール等により対応することに加え、医療関係者からの移植医療制度や具体的な手続等の相談に応じた。

実績：47件

4. 臓器移植環境整備事業

(1) 院内臓器移植コーディネーター・医療ソーシャルワーカー合同研修会の開催

臓器移植の知識習得や、具体的な事例を想定した症例検討、病院間の情報交換を図るため、重要な役どころであり、その連携が求められる「院内臓器移植コーディネーター」と「医療ソーシャルワーカー」を対象に、合同の研修会を開催した。

開催日：11月10日（金）14:00～15:30

会場：「アルヴェ」多目的ホールA

内容：講演①「医師として携わった臓器提供の現場から」

講師：（地独）佐世保市総合医療センター センター長 平尾朋仁

講演②「長崎県の移植医療の現状と取り組み」

講師：長崎県臓器移植 Co 竹田昭子

参加者：41人

(2) 移植医療推進委員会の開催

県内移植医療の推進を図るため、移植医療関係者による「移植医療推進委員会」を設置し、普及啓発や院内体制整備等の様々な課題について、それぞれの立場からの示唆や提言・議論を行った。

議 題：「令和5年度の取組みと次年度事業について」

日 時：令和6年1月12日（金）、17:00～18:00

出席者：10名 ※全委員13名

(3) 脳死下臓器提供に係る関連団体連絡会議の開催

脳死下臓器提供事例が発生した場合に、混乱なく本人・家族の意思に沿った臓器提供ができる体制の確認と情報の共有を図るため、関連団体の連絡会議を開催した。

日 時：令和5年8月22日（火）、14:00～16:00

会 場：アルヴェ 2階多目的ホールA

議 題：①臓器提供の現状 ②臓器搬送 ③虐待対応
④検視対応 ⑤転院搬送他

出席者：36名

(4) 入院患者に対する意思表示啓発資料の配付

移植医療への理解と臓器提供に関する意思表示を推進するため、協力を得た医療機関に限定し、全ての入院患者に意思表示啓発資料を配付した。

実 績：16病院（27,700配布）

(5) 病状説明支援事業の実施

人生の最終段階（旧：終末期）となった患者の家族を対象に、患者の希望を尊重したうえで家族も納得のいく最後となるよう、現在の病状説明や今後取りうる対応等をまとめたリーフレットを配布した。（希望医療機関のみ）

実 績：3病院

(6) 臓器提供に関する情報冊子の作成

医療従事者等から患者への情報提供を支援するため、臓器提供に関する情報を掲載したリーフレットを改定し、医療機関へ配布した。

実 績：26救急告知医療機関（各100部）

(7) 院内体制整備事業への支援

医療機関における移植医療環境整備のため、臓器提供に係る「院内マニュアルの作成」や「院内研修会」、提供に係る「シミュレーションの実施」などに要する費用を助成する国庫補助事業（実施主体：日本臓器移植ネットワーク）を申請しようとする（申請した）医療機関に対し、様々なアドバイスや支援を行った。

実 績：2医療機関（秋田大学附属病院、中通総合病院）

(8) 病院の臓器提供マニュアル作成・改訂への協力

医療機関における臓器提供の円滑化を図るため、日本臓器移植ネットワークと協力し、

各病院の臓器提供マニュアルの作成や改訂への支援を行った。

実績：5医療機関（全15病院）

(9) 院内臓器移植コーディネーター設置病院の訪問等

それぞれの医療機関が抱える課題や疑問等に対応するため、当協会の臓器移植コーディネーターが院内臓器移植コーディネーター設置病院等を訪問し、国内の動向や課題解決に向けた情報の提供・収集・意見交換等を行った。

実績：5医療機関（全15病院）

(10) 透析施設への情報提供

移植医療に関わる経費負担等を軽減するために、当協会が実施している助成事業等についての周知をはじめ、慢性腎不全の治療法に関する資料を作成し、県内の全ての透析施設へ送付した。

(11) 臓器提供への対応

臓器提供事案を円滑に進めるため、臓器提供に関する家族への説明や、提供から移植までの手続、提供施設から移植施設までの臓器搬送、提供後の家族ケアなど、ドナーとその家族への対応を24時間体制で実施した。

実績：5件（家族対応1、隣県支援1、講師依頼3）

5. 眼球あっせん等に関する事業

(1) 眼球提供者等の登録

献眼登録者の増加を図るため、キャンペーン等を通じてパンフレットを配付し献眼登録を呼びかけるとともに、登録希望者の受付、登録、登録カードの発行を行った。また、移植希望者についても登録を行った。

新規登録実績：①献眼・7名、②移植希望者登録・2名（待機者11名）

(2) 角膜、強膜のあっせん ※実績：ゼロ

(3) 献眼登録者に対するフォローアップの実施

献眼登録者の尊い意思が献眼に確実に結びつくようにするため、登録者を対象に、献眼に関する資料や協会だより、冷蔵庫マグネットなどを送付した。

6. 情報提供事業

(1) 機関紙の発行

当協会の取組等を周知するため「あきた移植医療協会だより」を作成し、行政や公共施設、医療機関、賛助会員等へ配布した。

(2) 協会ホームページの運営

ホームページをスマートフォン対応とし、国内の移植医療に関する情報を県民に提供し、移植医療の理解の促進に努めた。

7. 助成事業

臓器提供遺族に対する敬弔金の支給や組織適合（HLA）検査に対する助成、臓器摘出費用助成事業等を実施した。

実績：組織適合(HLA)検査助成金・6件

8. 調査・研究事業

(1) アンケート調査の実施

県民の移植医療に対する意識を把握し、普及啓発活動の参考にするため、キャンペーン等を通じて「移植医療について」のアンケート調査を実施した。

(2) 情報収集

日本臓器移植ネットワークや日本アイバンク等が開催する各種会議、研修会並びに移植関連学会に参加し、情報収集するとともに、コーディネート技術等の習得等に努めた。

II 令和5年度法人運営

1. 理事会の開催

(1) 第1回理事会

開催日時：令和5年5月22日（月）、17:00～18:00

開催方法：Zoomミーティングを活用したWeb会議

決議事項：①令和4年度事業報告及び決算の承認

②令和5年度第1回評議員会の日程等

出席者等：決議に必要な出席理事の数6名、出席9名、欠席1名

監事出席2名

(2) 第2回理事会

期 日：令和5年6月7日

開催方法：決議の省略による方法

決議事項：①令和5年度第1回評議員会の開催時間の変更

②決議があったとみなされる日

出席等：提案書に対し、理事10名全員による同意の意思表示及び監事2名全員から書面による異議がないことの意味表示を得たことから、理事会の決議があったものとみなされた。

(3) 第3回理事会

期 日：令和5年6月12日

開催方法：決議の省略による方法

決議事項：①令和5年度第1回評議員会の開催方法の変更
②決議があったとみなされる日

出席等：提案書に対し、理事10名全員による同意の意思表示及び監事2名全員から書面による異議がないことの意味表示を得たことから、理事会の決議があったものとみなされた。

(4) 第4回理事会

期 日：令和5年6月22日(木)、17:00～17:30

開催方法：Zoom ミーティングを活用した Web 会議

決議事項：代表理事（理事長）及び副理事長の選定

報告事項：職務の執行状況

出席等：決議に必要な出席理事の数6名、出席10名、欠席0名
監事出席2名

(5) 第5回理事会

期 日：令和5年7月25日

開催方法：決議の省略による方法

決議事項：①令和5年度第2回評議員会の日程等
②決議があったとみなされる日

出席等：提案書に対し、理事10名全員による同意の意思表示及び監事2名全員から書面による異議がないことの意味表示を得たことから、理事会の決議があったものとみなされた。

(6) 第6回理事会

開催日時：令和6年3月5日（火）、17:00～18:00

開催方法：Zoom ミーティングを活用した Web 会議

決議事項：①令和5年度収支補正予算案の承認
②令和6年度事業計画案及び収支予算案の承認
③特定資産の一部処分承認

報告事項：職務の執行状況

出席者等：決議に必要な出席理事の数6名、出席9名、欠席1名
監事出席2名

2 評議員会の開催

(1) 第1回評議員会

期 日：令和5年6月22日

開催方法：決議の省略による方法

決議事項：①令和4年度事業報告及び決算の承認

②任期満了に伴う役員を選定

③決議があったとみなされる日

出席等：提案書に対し、評議員10名全員による同意の意思表示を得たことから、評議員会の決議があったものとみなされた。

(2) 第2回評議員会

期 日：令和5年8月8日

開催方法：決議の省略による方法

決議事項：①評議員の辞任に伴う補欠評議員の選任

②決議があったとみなされる日

出席等：提案書に対し、評議員10名全員による同意の意思表示を得たことから、評議員会の決議があったものとみなされた。

3 監査会の開催

期 日：令和5年4月27日（木）、13:30～14:30

開催場所：秋田県総合保健センター 第3研修室

内 容：令和4年度事業及び決算の監査

出席等：監事出席2名

4 登記事項

令和5年7月4日登記

- ・浅野雅彦理事、石塚真人理事、伊藤和美理事、岩瀬剛理事、内山博之理事、小玉喜久子理事、齋藤満理事、佐藤利秋理事、羽渕友則理事、智田邦英監事及び山岡ふき子監事の任期満了に伴う重任（6月22日）
- ・畠山和明理事の任期満了に伴う退任（6月22日）
- ・村越正道理事の就任（6月22日）
- ・羽渕友則代表理事の任期満了に伴う重任（6月22日）

令和5年8月8日登記

- ・佐藤寿美評議員の辞任（6月16日）
- ・須田広悦評議員の就任（8月8日）

5 届出・報告事項（届出・報告先 秋田県）

令和5年6月26日

- ・令和4年度事業報告書等の提出

令和5年8月22日

・役員等の変更届の提出

令和6年3月12日

・令和6年度事業計画書等の提出

臓器移植コーディネーター、アイバンクコーディネーター活動報告書

項目	実績	内容
1. 普及啓発事業		
(1) イベント開催	5回	・街頭キャンペーン②、グリーンリボンキャンペーン、グリーンリボンライトアップ、種苗交換会
(2) 講師依頼	9件	・いのちを考える学習会⑦、秋田県警察学校、秋田ケーブルテレビ
(3) 啓発資材配布	272カ所	・県市町村、医療機関、グリーンリボンサポーター等 啓発資材配布部数：約 45,200 部
2. 相談・助言に関する事業		
(1) 臓器提供・移植関係	29件	・移植医療に関する相談対応
(2) 献眼関係	18件	・献眼登録等に関する相談
3. 臓器移植環境整備事業		
(1) 研修会・会議の開催	3件	・院内臓器移植 Co 研修会、移植医療推進委員会、脳死下に係る関係団体連絡会議
(2) 院内 Co 設置病院等訪問	93回	・秋田大学病院、秋田赤十字病院、中通総合病院等
(3) 透析施設資料配付等	43件	・HLA 検査一部助成事業等に関する資料配付
(4) 臓器提供の情報	2件	・臓器提供の可能性があった情報(内1件家族へ説明)
(5) 他都道府県支援	1件	・脳死下臓器提供におけるあっせん支援
(6) 提供者家族支援	1件	・移植を受けられた方々の報告等
4. 眼球あっせん等に関する事業		
(1) 眼球提供者等の登録	7件	・アイバンク登録証、アイバンクカードの作成等
(2) 角膜、強膜のあっせん	0件	
(3) 病院訪問	32件	・アイバンク医療機器等の確認
(4) 献眼対応	0件	
5. 情報提供事業		・協会 HP 運営、協会だより発行、秋田市広報掲載
6. 調査研究事業		
(1) 会議、研修会、学会等	13件	・北海道・東北臓器移植 Co 会議②、全国都道府県臓器移植 Co 会議⑤、日本移植学会、日本臨床腎移植学会、秋田県脳神経研究会、A 級臓器移植 Co 研修会、全国アイバンク連絡協議会、北海道・東北アイバンク広域連絡協議会
(2) アンケート調査	1件	・移植医療の県民意識調査

※○数字は回数。

令和5年度事業報告書には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和6年4月

公益財団法人 あきた移植医療協会